

計画目標(業務指標)の達成状況

本計画目標及び業務指標は、より効率的・効果的な事業運営を図り、お客様への説明責任を果たすために、水道事業ガイドライン(業務指標)を参考に設定したものである。

本計画目標(平成22年度)の達成状況は、25指標のうち、22指標で達成または概ね達成した。

なお、本計画目標及び業務指標は、計画当初に設定したものであるが、その後、外部有識者等による評価委員会のご意見を参考とし、評価方法や指標などを改善し、評価調書に反映しているところである。

計画目標

ア より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道に関する目標

業務指標	算出方法	H16年度	H22年度		評価
		実績	目標値	実績	
1 浄水施設更新率 (%)	$\frac{\text{全浄水施設能力} - \text{法定耐用年数を超えた浄水施設能力}}{\text{全浄水施設能力}}$	97	100	100	a
2 鉛給水管更新率 (%)	$\frac{\text{鉛給水管更新累計本数(平成元年以降)}}{\text{使用を取り止めた時点(元年)の鉛給水管残存数}}$	57.1	100	98.3	b
3 直結給水率 (%)	$\frac{\text{直結給水件数}}{\text{給水件数}}$	61.8	63.3	66.3	a
4 貯水槽水道指導率 (%)	$\frac{\text{貯水槽水道指導件数}}{\text{貯水槽水道総数}}$	0.11	7.10	95.7 ¹	a
5 配水量1m ³ 当たり電力使用量 (kWh/m ³)	$\frac{\text{全施設の電力使用量}}{\text{年間配水量}}$	0.500	0.474	0.478	b
6 浄水場発生土有効利用率 (%)	$\frac{\text{有効利用土量}}{\text{浄水発生土量}}$	97.7	98	100	a

- 1 2万箇所を超える貯水槽水道の全所有者にパンフレット等を郵送し、適正管理を啓発指導するものです。
(うち、所有者からの要望により槽の点検を行うケースは約半数です。)

イ 現行料金を維持できるよう経営基盤の強化に関する目標

業務指標	算出方法	H16年度	H22年度		評価
		実績	目標値	実績	
1 定員 (人)	職員数	1,161	904	930	b
2 PFI導入数 (箇所)	導入箇所数	1	3	2	c
3 工事コスト縮減額(億円)	縮減工事費 ²	10	53	44.7	b
4 経常収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}}$	113.2	104.4	115.2	a
5 企業債残高 (百万円)	企業債残高	240,511	234,356	201,256	a
6 自己資本構成比率 (%)	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}}$	62.6	66.9	71.4	a
7 職員1人当たり給水収益 (千円/人)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{損益勘定所属職員}}$	64,712	84,764	79,807	c

- 2 H16年度は単年度の縮減額です。H22年度の目標及び実績は、計画の5か年間の累計縮減額です。

[評価ランク]

- a : 達成している (目標値の 100%以上)
- b : 概ね達成している (目標値の 80%以上 100%未満)
- c : 達成が十分でない (目標値の 50%以上 80%未満)
- d : 達成していない (目標値の 50%未満)

(算出方法)

$$\frac{\text{H 2 2 実績} - \text{H 1 6 実績}}{\text{H 2 2 目標} - \text{H 1 6 実績}}$$

ウ お客様により一層信頼される水道に関する目標

業 務 指 標	算 出 方 法	H 1 6 年度	H 2 2 年度		評 価
		実 績	目 標 値	実 績	
1 高度浄水処理水利用率 (%)	$\frac{\text{高度浄水処理水利用人口}}{\text{給水人口}}$	61.8	80	83	a
2 お客様センター受付件数 (件)	受付件数	625,653	640,960	652,658	a
3 アンケート情報収集割合 (人/千人)	$(\text{アンケート回答人数} / \text{給水人口}) \times 1000$	0.31	0.62	1.7	a
4 水道施設見学者割合 (人/千人)	$(\text{見学者数} / \text{給水人口}) \times 1000$	6.1	6.5	5.8	d
5 水道サービス苦情割合 (件/千件)	$(\text{苦情件数} / \text{給水柱数}) \times 1000$	0.77	0.53	0.28	a
6 ホームページアクセス件数 (件)	アクセス数	1,081,321	1,403,000	6,644,705	a
7 お客様満足度 (%)	(満足 + やや満足) の占める割合	21.1	30	66.1 ³ 37.7 ⁴	a

3 インターネットモニター、まちかど水道相談時などのアンケートによる結果です。

4 H 2 1 年度に実施した任意に抽出したお客様への郵送によるアンケート結果です。

エ 地震等の非常時にも強い水道に関する目標

業 務 指 標	算 出 方 法	H 1 6 年度	H 2 2 年度		評 価
		実 績	目 標 値	実 績	
1 浄水場等施設耐震化率 (%)	$\frac{\text{耐震対策済浄水場等施設数}}{\text{全浄水場等施設数}}$	90	95	94.5	b
2 管路耐震化率 (%)	$\frac{\text{耐震管延長}}{\text{管路総延長}}$	4	10	9 ⁵	b
3 配水区域数 (箇所)	配水区域数	33	62	62	a
4 自家用発電設備容量率 (%)	$\frac{\text{自家発電設備容量}}{\text{契約電力の合計} + \text{自家発電設備容量}}$	37.0	39.9	40.9	a
5 緊急遮断弁等による配水池貯留能力 (m ³)	貯留容量	430,000	460,000	460,510	a

5 厚生労働省が公表している耐震適合率 (良質地盤に埋設されている一部管路を含む) は、12.8%です。